

舌接触補助床

日本顎顔面補綴学会HP

(https://jamfp.sakura.ne.jp/?page_id=594)

- 高口蓋や舌の運動機能低下などが原因で、舌による食塊移送困難な方では、「舌接触補助床」を作成すると食塊移送ができることがあります



一般社団法人
日本顎顔面補綴学会

学会概要

学会誌

学術大会

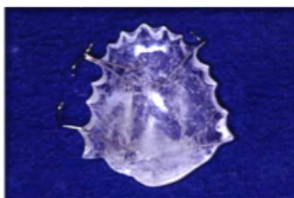
認定医・認定士

一般の皆様へ

舌接触補助床

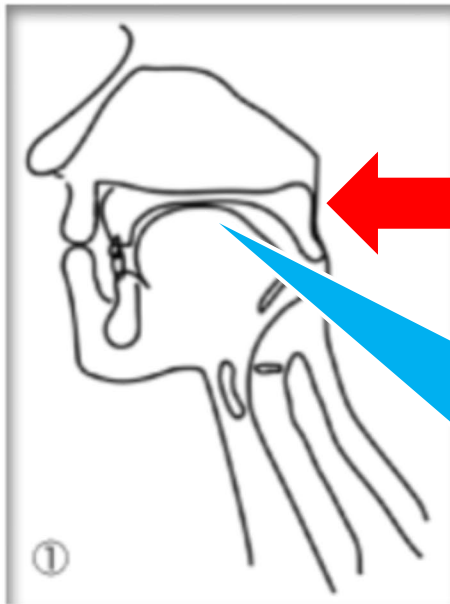
舌接触補助床（ぜつせつしよくほじょしょう，PAP）は、舌の動きが悪くなっている患者さんに装着し、舌を口蓋に接触しやすくすることでしゃべったり飲み込んだりする機能を回復します。脳卒中や神経疾患にも適用可能です。

対象：舌・口底癌術後，慢性進行性麻痺，脳血管障害



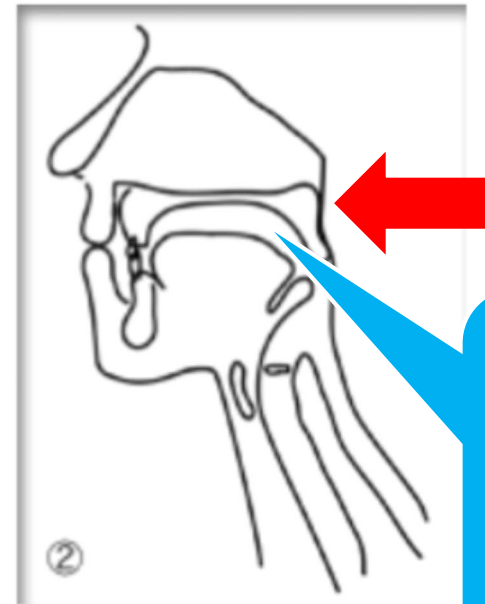
舌接触補助床

- 高口蓋や舌の運動機能低下などが原因で、舌による食塊移送困難な方では、「舌接触補助床」を作成すると食塊移送ができることがあります



舌が、舌の先より順序良く口蓋に触れることで、舌は食塊を咽頭に送り込むことができる

①正常な舌と口蓋の接触

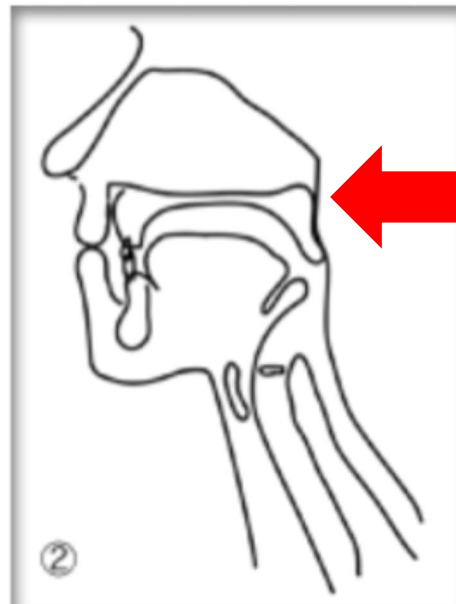


舌が口蓋に触れないため、舌は食塊を咽頭にうまく押し出すことが難しい

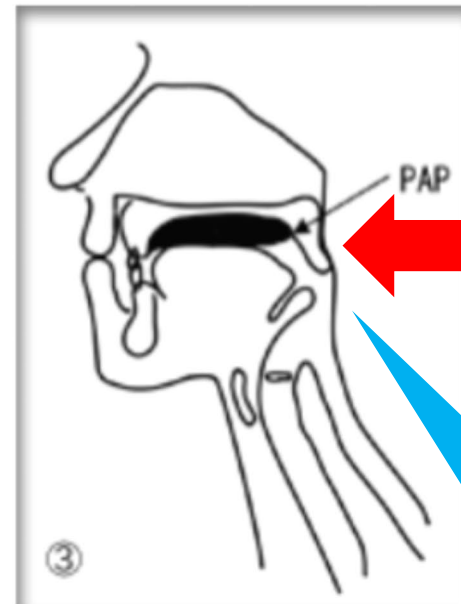
②舌と口蓋の接触がない

舌接触補助床

- 高口蓋や舌の運動機能低下などが原因で、舌による食塊移送困難な方では、「舌接触補助床」を作成すると食塊移送ができることがあります



②舌と口蓋の接触がない



舌接触補助床を入れると、装置と舌が触れて、舌が食塊を咽頭に送り込めるようになる。

③PAPを装着して舌の接触を得たところ